

子育てコラム34 parenting column

子育ては楽しいこともあるけど悩みもたくさん。
そんなママのための役に立つアドバイス。

「孫育て、祖父母の思い」

ポスト団塊世代が次々と祖父母になっています。50歳頃から初孫を持たれる方もいる中、70歳を過ぎての方も大勢います。お孫さんを守られている方からお話を伺ったり、相談を受ける機会がよくあります。「孫の世話は大変だが、娘や息子のためには引き受けるべきだ」と、大変さを感じていても、子どものためには引き受けたいと考えている祖父母は大勢います。その一方で、「子育ては祖父母を頼らず、親自身で行うべきだ」と考えている祖父母も意外と多くいます。孫は可愛い、子守を完全に任せられると疲れる。頼られればなしは大変だ。それでも頼まれれば親として引き受けたいというのが祖父母の本音のようです。

愛おしい孫だけれど、孫の将来に思いを馳せながらゆったりと子守をすることは簡単ではありません。祖父母は、大事な孫に絶対怪我をさせてはいけないとの思いで子守をしています。自分

の子育ての時とは違った緊張感です。歳を重ねている分、辛いことや怖い思いも経験しています。今までの沢山の経験から、ある程度の見通しもできます。その分、何かこの先危険があるのではないか、怪我事故を起こさないかと常に気に掛けています。反面、身のこなしや機敏さに欠ける自分も自覚しているので神経を使います。

「孫は可愛いだろうから預けるのも親孝行」だと思っている方も多ようです。公的なサポートも利用しながら、決して祖父母の過度な負担にならないよう話し合っていきましょう。

照れるでしょうが、「ありがとう」と同じく、「大好きだよ」の言葉も祖父母に伝えましょう。歳を取ると優しい言葉にこの上ない喜びを感じます。

出産を終えた娘が、生まれてきた我が子を愛しく思う気持ちと同じように、ご両親は娘のことを心から大事に思い心配しています。



子育てひろっば「めぐみ」代表

弘田 恵子

大阪府立母子保健総合医療センターNICUや母乳育児相談室で勤務。その後20年間高知市内のめぐみ保育園で園長を務め、平成30年4月から子育てひろっばで、妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)、上級睡眠健康指導士。